

住者ってどんなひと？
南相馬の
カッコいい
おとな手帖



千葉県 → 南相馬市

おとな手帖

No.02

道はひとつじゃない

看護師だから選べるさまざまな働き方



今回のカッコいい大人

ふたがみ

二上 ゆいかさん

宮城県仙台市生まれ

お仕事 南相馬市立総合病院
看護師

居住歴 2022年1月～

22 歳

神奈川県横浜市で
看護師として就職

25 歳

千葉県市川市に
引越し
看護師として転職

29 歳

結婚して
夫の暮らす
南相馬市へ移住



点滴をチェックする二上さん



毎日の血圧測定で僅かな変化にも気を配る



二上さんに Q & A 聞いてみた!



Q1. 看護師の仕事について教えてください。

A. 朝一番に、担当患者さんについて夜間勤務の人からの申し送り事項が書かれた電子カルテを確認します。次に、担当している患者さんのところに行き、朝の状態を確認します。同時に、血圧を測定したり、点滴を取り換えたりする作業も行います。

そのほかにも、移動式ベッドのような道具を用いながらお風呂に入れてあげたりもします。週1回の入浴になりますが、患者さんたちが楽しみにしているものの1つです。

食事の介助などを行っているとうち午後のになるので、交代でお昼休憩をとります。その後、おむつ交換や、シーツ交換などの環境整備を行います。最後に、その日の夜間勤務の人に患者さんの情報を引き継ぎ、あっという間に1日が終わります。忙しい毎日ですが、充実感を感じられます。

Q2. 看護師の仕事の魅力は何ですか？

A. 最大の魅力は、たくさんの人と関わること。私自身が看護師を志したきっかけでもあります。小さい子が好きだったので保育士に憧れたこともありましたが、母も看護師だったので、私にとってより身近にあるこの職業を目指しました。

看護師は幅広い年代と関われます。看護師になって1年目は、自分の知識や技術のなさに、悔しさを感じたこともありましたが、同期と一緒にごはんを食べに行ったり、勉強したりと、お互いに支え合って乗り越えました。

担当する科が変われば毎回勉強をして、最適なケアをできるようにしています。一括りに看護師といっても仕事の内容や働く場所が多様化してきています。私が選んだ「病院」は、特に直接命に関わる場面も多いので責任も大きいですが、やりがいを感じています。



わたしが記事にしました！



いがり
猪狩ひより
原町高校1年

編集後記



話を聞く中で、看護師は患者さんに1番近い存在であること、家族や患者さんと医師をつなぐ存在であることを学びました。また、看護師として、病院で働くだけではなく、さまざまな選択肢があることも分かりました。私たち高校生もやりたいことを見つけ、幅広い視野と知識を持つことが大切なのだと感じました。



(ニ上さんの暮らし・仕事について
さらに詳しく！)

Webサイトの記事はこちら→



My favorite Minamisoma
南相馬のお気に入り

お酒とごはん はなぞの
Osake to gohan HANAZONO

チャーハンが
お気に入りです！



南相馬のわたしのお気に入りは、『お酒とごはん はなぞの』。和食のイメージがあるお店ですが、私のおすすめはチャーハンです。混雑している時は諦めてしまうこともあるくらい人気ですが、夫と休みが一緒になった時に行き、おいしいごはんをいただいています。

OKINIRI

移住者ってどんなひと？
南相馬の
カッコいい
おとな手帖 って？

南相馬市には他地域から移住し、自分らしくかっこよく働くおとなたちがたくさん暮らしています。

彼らが「今、ここにいる理由」はさまざま。夢を叶えるため、誰かと共に生きるため……。それぞれの物語を紐解いていくと、多様な南相馬の魅力に気づきます。

「移住者」に会いに行くのは、南相馬市で育った高校生たち。自分たちには当たり前な環境も、移住者のみなさんの視点を借りると、なんだか違って見えてくる！

Publisher：南相馬市役所 移住定住課

Direction：marutt Inc.

Editor：小野民、高橋慶香、猪狩ひより、和田美優

Designer：高木市之助

Photographer：鈴木稯蔵

南相馬で自分らしい暮らしを
実践している先輩移住者がたくさん！

南相馬市 移住者インタビュー Webサイトはこちら→

